

情報公開用文書（附属市民総合医療センターで実施する医学系研究）

（単施設研究用）

西暦 2021 年 3 月 31 日作成 Ver.3.0

研究課題名	一般不妊治療における治療成績・予後に関する観察研究
研究の対象	2006年1月1日から2025年12月31日までに当院生殖医療センターを受診し一般不妊治療を受けた患者さん夫婦
研究目的 ・方法	<p>女性の社会進出に伴う晩婚化の影響などで、今や不妊カップルは約6組に1組とされています。</p> <p>不妊治療は、タイミング法・人工授精といった一般不妊治療から体外受精を含む高度生殖医療へとステップアップするのが定石です。しかし、体外受精を含む高度生殖医療は日本産婦人科学会も体外受精の適応として、他の治療では妊娠しないまたは妊娠の見込みが著しく低いものと限定しています。</p> <p>不妊治療・検査を行う上で、検査結果をもとに症例ごとに最適な治療を遅滞なく選択していくことが非常に重要であり、体外受精の適応は慎重になされるべきであり、一般不妊治療で妊娠可能なものはそれを目指して治療を行うべきであります。そこで、本研究では当院での一般不妊治療をおこなった症例について、その内容、成績、妊娠・周産期予後に関して電子カルテ上の診療録を解析検討し、個々の症例にさらに良い治療を提供することができることを目的としています。</p>
研究期間	西暦 2019 年 5 月 14 日 ～ 西暦 2026 年 3 月 31 日
研究に用いる 試料・情報 の種類	病歴、治療歴、検査データ、超音波所見、卵管造影所見、子宮鏡検査所見、精液所見、妊孕性改善手術を施行した場合は術中所見、一般不妊治療施行時の治療内容、妊娠の転帰、周産期予後 等。
<p>本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先まで電話またはFAXでお申出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはございません。</p>	
<p>問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：</p> <p>〒232-0024 横浜市南区浦舟町 4-57</p> <p>横浜市立大学附属市民総合医療センター 生殖医療センター（研究責任者）村瀬 真理子</p> <p>電話番号：045-261-5656（代表） FAX：045-242-2275</p>	